



摂南大学広報誌

◆ 学長通信

◆ **特集** 新入生のスタートを力強く応援
摂南大学独自の教育プログラムと歓迎行事

◆ SETSUDAI NEWS

あ

や

け

き

No. 15
2021 SEP

SETSUNAN UNIVERSITY 



学長
萩田 喜代一

コロナ禍の経験を活かした教育体制へ

『誰一人として置き去りにしない』 ニューノーマル時代の大学教育

昨年からのコロナ禍の中、本学は『誰一人として置き去りにしない』の方針のもと、感染防止対策を講じながらのキャンパス内での対面授業とICTを活用したオンライン授業を併用する教育体制を推し進めてまいりました。この学びを止めない教育体制に対する皆さまのご理解とご協力が心より感謝申し上げます。

また、後援会（保護者・保証人）、校友会（卒業生）、本学教職員の方々からの真心の『コロナ対策学生・生徒支援募金』並びに感染防止用品のご寄付に厚く御礼申し上げます。

コロナ禍を経て、ICTを活用した新たな学修手法*には、主体的で自律的な学修の観点において一定の有用性があることが確認できました。一方、これまで以上にキャンパス内での対面学修の重要性も実感して

います。これらを踏まえ、本学では、これまでの経験をもとに、ニューノーマル時代の大学教育として、『進化した対面学修』と『ICTをフルに活用した学修』を行ってまいります。

* 反転授業、オンデマンド授業、ハイブリッド授業、ハイフレックス授業、オンライン上での対話学修など



摂南大学校友会よりコロナ対策学生支援としてアクリルパネル150枚を寄贈いただきました。
(本誌P11に記事掲載)

Close-up / SETSUDAI

コロナ禍の中、選手たちの激闘に勇気づけられた東京2020オリンピック・パラリンピック。本学にも、オリンピックに関わりのある教員が在籍しているのをご存じでしょうか？



輝かしい経歴を持つ、本学のオリンピック関係者

学生部 スポーツ振興センター

瀬川 智広 准教授

(ラグビー部監督・写真右)

【東京2020オリンピックでの活躍】
日本民間放送連盟が組織するジャパンコンソーシアム(JC)より依頼を受け、日本の各放送局へ向けて、7人制ラグビー競技(男子・女子)の日本戦を中心に中継解説を行いました。

<経歴>

東芝ブレイブルーバスの監督としてトップリーグで2度(2008・2009年)優勝。2012年からは男子セvens日本代表のヘッドコーチを務め、2016年のリオ五輪ではベスト4に導きました。東芝の監督・GMを歴任した後、2020年4月に本学ラグビー部監督に就任。



学生部 スポーツ振興センター

横山 喬之 講師

(柔道部監督・写真左)

【東京2020オリンピックでの活躍】
東京2020オリンピック組織委員会より依頼を受け、柔道競技のエキシビジョンにおいて、15種類の投の形の演技を披露しました。

<経歴>

世界柔道形選手権大会・投の形で7回優勝、アジア柔道形選手権大会・投の形で2回優勝、全日本柔道形競技大会・投の形で8回優勝という華々しい経歴の持ち主です。2010年4月に本学柔道部監督に就任。



「VUCA時代」を生き抜くための学びに注力

専門力×非認知能力(人間力) = 社会力

私たちは今、不確実で複雑・曖昧で予測不能な状況であるVUCA(ブーカ)^{*}の時代に生きています。今後もVUCA時代が続いていくことでしょう。このような時代を生き抜くためには、どのような力が必要でしょうか？それは専門的知識・技能(専門力)に加えて、思考力・判断力・表現力や目標への情熱・忍耐力・思いやり・協調性・コミュニケーション力などの非認知能力(人間力)です。また、OECD(経済協力開発機構)が定めた教育指針にある「責任ある行動をとる力、対立やジレンマを克服する力、新たな価値を創造する力」もとても重要です。

学生一人ひとりが多様な学びに挑戦して、VUCA時代を生き抜き、未来社会を創発する人材へと成長されることを心から期待しています。

※ Volatility変動性、Uncertainty不確実性、Complexity複雑性、Ambiguity曖昧性



アクティブ・ラーニングの全学展開

本学では、VUCA時代を生き抜く力を付けるための多様な学びの場を拡げ、アクティブ・ラーニングの全学展開による「主体的(当事者意識)で自律的な学びの習慣と非認知能力の涵養」と「専門的知識・技能の修得」に取り組んでいます。

摂南大学の学びの展開



本学には学部での学び(主専攻課程)に加えて、学部の垣根を越えた学びの場としての副専攻課程があります。副専攻課程では、地域創生人材養成のソーシャル・イノベーション副専攻、世界市民養成のグローバル・シチズンシップがあります。また、多種多様な課外活動や学生プロジェクト活動などがあり、それぞれに重要な学びの場として多くの教職員やコーチ陣が担当しています。

INDEX

学長通信	02
特集	
新入生のスタートを力強く応援	04
摂南大学独自の教育プログラムと歓迎行事	

SETSUDAI NEWS	08
経済支援のご案内	12
INFORMATION	13
就活・進路 内定状況	14
後援会	15

本学では、新型コロナウイルス感染症への対応として、全学生・教職員への感染リスクを最小限にするべく、最新情報の入手と注意喚起に努めております。今後予定している各行事などにつきましては、状況を注視しつつ、その動向・変化に応じて変更となる可能性があります。新しい情報は本学ホームページにて随時お知らせします。本誌に掲載の写真は、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、撮影時のみマスクを外して撮影しています。

● 摂南大学独自の教育プログラムと歓迎行事 ●

本学では、学生一人ひとりが確かな専門性と豊かな人間力を身に付け、社会に羽ばたくために、大学での学修に対する強いモチベーションと主体的に学ぶ力を重視しています。今回は、その基礎づくりとなる初年次教育プログラムの一つである「学修キックオフ・セミナー」と大学生活への期待と意欲を高める「新入生歓迎行事」をご紹介します。

Kick-off seminar

学修キックオフ・セミナー

チーム・ビルディングを通して仲間を作り、大学での学び方を学ぶ。
学修へのモチベーションのスイッチが入る、本学独自の初年次教育プログラム※の一つ「学修キックオフ・セミナー」には全員が出席します。

※社会人力の基礎を培う本学での学びの導入部として、新入生を対象に「学修キックオフ・セミナー」に続いて、アクティブ・ラーニングによる教養科目「大学教養入門(前期)」「大学教養実践(後期)」を展開。



1 大学での学び方を学ぶ

2 大学生活の不安を解消し、意欲を高める

目的

グループワークを体験し、
主体的に学ぶ姿勢を学ぶ

チーム・ビルディングの
過程と重要性を学ぶ

新入生・先輩学生との
交流の機会を持つ

学部・学科の枠を越えて
仲間を作る

社会で求められる非認知能力を鍛える第一歩に

大学生活の前向きなスタートを支援

担当教員が語る

本学の学修に欠かせない 主体的に学ぶ姿勢とチームで協働する力

学修キックオフ・セミナーは、2018年度にスタートした教育プログラムで、新入生が大学での学び方を学び、スムーズに授業に取り組んでいけるよう支援することを狙いとしています。今年度は、4月5日、6日に寝屋川キャンパス、4月10日に枚方キャンパスの全新生を対象に実施しました(全日程とも同内容)。

本学では、学生が能動的に問題を発見し、解決方法を見出すアクティブ・ラーニングを多くの授業で取り入れています。これらの学修では、実社会同様、グループワークや学外の関係者と連携を図る機会が多くあります。つまり、本学の学修には、主体的に取り組む姿勢と、チームとして協働する力が欠かせないのです。



教務部
教育イノベーション
センター
上野山 裕士 講師



チーム・ビルディングの基本は対話 相手を知り、自分を知ることから始まる

今年度は、アイスブレイクを兼ねた全体でのマッチングゲーム、自分のコミュニケーションスタイルを探求する個人ワークに続いて、メンバーインタビュー、課題解決実習、フィードバックの3つのグループワークを行いました。

これらの取り組みが目指すことは、チームを作り上げていく「チーム・ビルディング」です。多様なメンバーがチームとして目標を達成するためには、お互いを理解するための対話が不可欠です。「相手の発言に耳を傾け、質問を重ね理解を深める」「自らの考えを検証し、意見として発言する」。その過程は自身を知ることにもつながり、「自分はどうしたいのか」「どうなりたいのか」を繰り返す中で、学修へのモチベーションの基盤になっていきます。

このようにチーム・ビルディングの過程を体験し重要性を理解すること、新入生がその経験を共有し仲間としてのつながりを感じていることは、授業でも確かなベースとなります。そして何よりも、朝のセミナー開始時には緊張感いっぱいだった新生たちがワークを通して盛り上がり、午後にはすっかり打ち解けていく様子が毎年見られ、期待や希望を胸に大学生活のスタートを切るきっかけにもなっています。

サポート役として欠かせない 「先輩学生」の存在

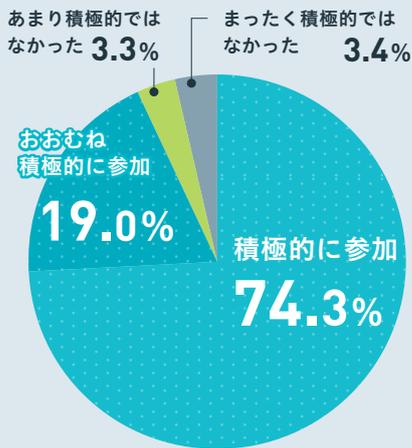
2018年度のスタート以来、学修キックオフ・セミナーの運営に欠かせないのが「先輩学生」となる在学生の存在です。教職員と協働して新入生の学修や大学生活をサポートする学生スタッフ組織LST(ラーニング・サポート・



新入生アンケート結果集計結果

Q.1

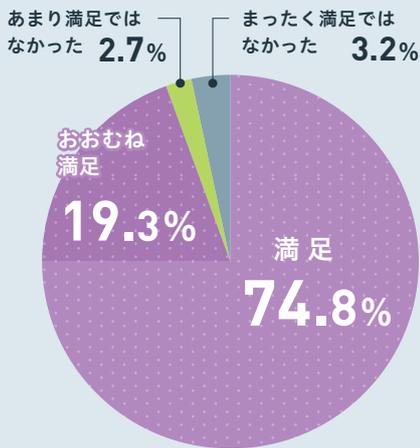
あなたは積極的に
参加しましたか？



肯定回答率 **93.3%**

Q.2

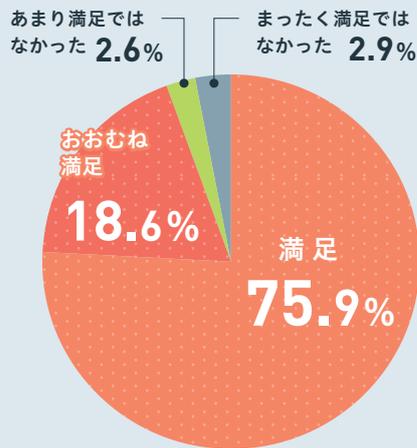
あなたはセミナーに
満足しましたか？



肯定回答率 **94.1%**

Q.3

あなたはファシリテーターの
働きに満足しましたか？



肯定回答率 **94.5%**



チーム)のメンバーと有志の学生がファシリテーターとして携わり、約2カ月前から準備します。今年度は54人が参加。まず全体の目標とワークメニューの概要を全員で共有した後、一人ひとりが各ワークの持つ意味を掘り下げ、全体をどう組み立てるかを議論し決定していきます。その後、少人数のグループでファシリテーションの練習を重ね、全体練習で互いにフィードバックを行いました。

ただ進行するだけではなく、コミュニケーションの取り方にさまざまな違いがあることを理解し、新入生一人ひとりが、主体的に参加できるように導く必要があります。ファシリテーターとしていかに関わっていくか。その方法についても、メンバーが個性を生かし、それぞれの方法を模索していきました。先輩から後輩へと活動が受け継がれる中で、年々「誰かのために力を尽くす」精神と必要なスキルが本学の風土として着実に根付きつつあります。

在学生が活躍

ファシリテーターとしてサポートしました



チームで目標に向け協力する
素晴らしさを知ることができました

経営学部 経営情報学科 3年
中川 知香さん

学修キックオフ・セミナーに新入生として出席した際に、LSTの先輩が人前で堂々と話す姿を見て、「自分もこんなふうになりたい」の思いをきっかけに2年から活動に参加しています。

今年度は他の2人のメンバーとともに、このプログラムのリーダーを務めました。メンバーの人員確保、ファシリテーションのグループ練習や全体練習を含めたスケジュール管理、当日の動き方やトラブル対応を関係者に共有する資料の作成を担当。資料はメンバーの意見や不安、疑問点を聞き、教務部の職員の方とも綿密に相談し、修正を重ねました。

準備の過程では、忙しさで大変な時もありました。これまでは大人数でのコミュニケーションに苦手意識もありましたが、

今まで感じたことのない大きな責任感が芽生え、周りのサポートも後押しとなって、「自分はここまで頑張れるんだ」と気づくことができました。新入生の参加後のアンケートではポジティブな感想が多く、チームで一つの目標に向かって協働する喜びを経験することができました。

Next Leader

先輩たちが構築してきた
このプログラムをより良いものに
していきたいです！

理工学部
都市環境工学科 2年
大野 優成さん



Welcome event for new students

新入生歓迎行事

4月7日、大阪城ホールを会場に、入学宣誓式を挙行。
約2,300人の新入生への祝福と歓迎の思いを込め、
多彩な歓迎企画を実施しました。



目的

- 1 入学の祝福と歓迎の思いを伝える
- 2 新入生の大学生活への期待と意欲を高める
- 3 先輩学生の活躍に触れることで、目標を見つけるきっかけを作る

担当職員が語る

年々アップデートを重ね、
完成度の高い内容に進化

新入生歓迎行事は入学宣誓式と併せて実施しているイベントで、2017年にスタートしました。在学生有志と若手職員が協働して企画運営しています。この企画は、「新入生の不安を吹き飛ばし、喜びと期待を胸にスタートを切ってもらえるよう、会場である大阪城ホールを最大限に活用した歓迎イベントをしよう」の思いをきっかけにスタートし、本学の一大イベントの一つとなっています。

その後、年を追うごとにステージパフォーマンスや多彩な演目はアップデートを重ね、ダイナミックで完成度の高いものへと進化。今では、新入生の大学生活への期待を一気に高める、圧倒的なインパクトを持っています。



新入生歓迎
プロジェクト2021
リーダー
学生部 学生課
西川 結さん

在学生と若手職員が連携し
新入生歓迎プロジェクトを推進

昨年度はコロナ禍により式典が中止となり、急遽歓迎の思いを込めた動画配信に切り替えての企画となりましたが、今年度は感染症対策を徹底し、4月7日、大阪城ホールで実施しました。会場への入場は新入生と教職員などに限られましたが、初めてオンラインによるライブ配信を行い、保護者をはじめ昨年出席が叶わなかった2年生など多くの方に視聴いただきました。

当日は、ダンスパフォーマンスと動画を組み合わせ合わせたウェルカムダンスや、スピーチによる先輩からのメッセージ、在学生・教員から新入生へ歓迎の気持ちを伝え、想いのタスキをつなぐタスキリレーなど多彩なプログラムを展開。会場内は新入生、在学生、教職員が一体となり



ました。新入生にとってはこうした歓迎の後押しを受け、これから始まる大学生活への第一歩を踏み出していく機会となりました。

実施にあたっては、毎回、前年春に新入生歓迎プロジェクトを立ち上げ、秋には、出演者と学生サポーターを募集します。学生たちは若手職員と連携しながら、演出の提案、準備・制作を進め、イベントを作り上げていきます。プロジェクト全体の動きについて職員と相談・調整を重ねつつ、「もっとこうしたい」とアイデアや要望を積極的に提案するなど、主体的に関わる学生が着実に増えています。

入学宣誓式は新入生や保護者の方々にとって、一度きりの大切なもの。その思いに寄り添うアットホームな新入生歓迎行事には、摂大らしさが詰まっています。歴代の先輩たちから受け継いできた恒例イベントとして、今後もさらに発展させていきます。



歓迎してくださって、
すごうれしかったです。

先輩の活気ある激励は、
とてもやる気が出た。
皆で力を合わせて
取り組んでいる様子は
感動した。

ダンスとか動画とか
他にもすべてが
めちゃくちゃすごくて
びっくりした。
もう一回見てみたい。

保護者の声

摂南大学の元気あふれる姿、
フレンドリーさが伝わりました。
わが子も歓迎されているという
安心感が得られました。

新入生の感想の声

司会の人たちの声が
聞きやすく
本物のアナウンサー
かと思った。

話をずっと聞くだけでなく、
新入生のことを考えた内容で
とても良かったです。

とってもワクワクする演出で
これからの大学生活に
胸が踊りました。
これからの大学生活が
すぐ楽しくなりました。

たくさん準備をさせていただけて
嬉しく思います。
大学生活の始まりにふさわしい
式に出席でき、本人にとって
新たな気持ちで学ぶ
良いスタートになると思います。



当日の様をこちらからご覧いただけます
入学宣誓式・新入生歓迎行事【ダイジェスト動画】



Web上でこのPDFをご覧の方は、QRコードをクリックすると該当のサイトにアクセスできます。

在学生が活躍

「先輩からのメッセージ」にチャレンジ、 学生サポーターとしても企画・運営に携わりました



チャレンジする機会と サポートできる環境があります

農学部 農業生産学科 2年
馬場 陽祈さん

「人前で話すのが苦手な自分を変える
きっかけにしたい」と考え、「先輩からのメッ
セージ」に応募。大阪城ホールでのステージ
に立ち、大勢の新入生を前に行うスピーチ
は、経験したことのない大きなチャレンジ
でした。ギリギリまで原稿が定まりきれず、
当日の全体リハーサルでは不安が大き
かったのですが、真剣に耳を傾け、緊張を

ほぐそうと話し掛けてくれる周囲のメン
バーたちの励ましのおかげで、本番では落
ち着いて話すことができました。新入生ア
ンケートでも評価いただき、「行動次第で
全てが変わる」ことを実感しています。

摂大には、挑戦する機会、支援できる環
境があり、一步を踏み出しやすい雰囲気
があります。今年は学生サポーターとして動
画やオリジナルグッズの制作、当日の準備
や片付けなどにも携わりましたが、来年は
今年以上に周りの人たちを支える役割を
担っていきたいです。



「先輩からのメッセージ」
では、コロナ禍での大学
生活を振り返り、「行動次
第で全てが変わる。視点
を変えながら、さまざま
なことに挑戦し、限られ
た時間を有効活用してく
ださい」とメッセージを
送りました。

TOPICS

総合司会を務めた 高橋大悟さんが 「第1回学生アナウンス大賞」で フジテレビアナトレ賞を受賞



新入生歓迎行事の新入生アンケート
でも高い評価を得ていた司会。昨年、今
年と総合司会として活躍した、高橋大悟
さん(経済学科3年)が、3月23日、全国
の大学生・大学院生から次世代を担う
アナウンサーを発掘するコンテスト「第
1回学生アナウンス大賞」で「フジテレビ
アナトレ賞」に選ばれました。1,000人
以上のエントリーの中から受賞する快
挙でした。



摂南大学の学びや研究、課外活動などにおける注目の取り組みやイベントをご紹介します。

- 法学部
- 外国語学部
- 経済学部
- 経営学部
- 理工学部
- 薬学部
- 看護学部
- 農学部

学び

Awards

外国語学部

合格率約5.3%の難関
インドネシア語技能検定B級に合格

池田樹陽さん(4年)が、第58回インドネシア語技能検定でB級に合格しました。B級は職場や生活に必要な言語の理解・使用ができるレベルとされ、第58回までの延べ合格者は497人。今回も合格率約5.3%の難関でした。学部では語学力の向上にも力を入れており、インドネシア語技能検定指導を担当する金子正徳准教授の下、検定の勉強に取り組みました。「先生の面接指導のおかげ

で、二次試験当日はスムーズに回答できました」と池田さん。引き続きA級取得に挑戦中です。



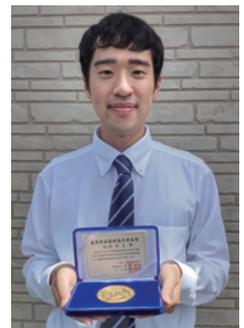
Awards

理工学部 電気電子工学科

赤ちゃんがミルクを飲むときの舌力を計測
電気関係学会関西連合大会で「電気学会優秀論文発表賞」を受賞

昨年11月、立命館大学(びわこ・くさつキャンパス)で行われた電気関係学会関西連合大会において、塩野貴正さん(2020年度卒・西恵理准教授ゼミ)が「乳児の吸啜(きゅうてつ)時における蠕動(ぜんどう)様運動の力学的特徴について」の発表を行い、4月に「電気学会優秀論文発表賞」の表彰を受けました。

この賞は優秀論文の発表を行った若手の研究者・技術者を表彰する荣誉ある賞です。



地域で学ぶ

理工学部 生命科学科

科学のおもしろさを高校生が体感
「ひらめき☆ときめきサイエンス~ようこそ大学の研究室へ~」を実施

「ひらめき☆ときめきサイエンス」は、全国の大学や研究機関などの科学研究費助成事業による最新の研究成果を子どもたちに発信し、「直に見る・聞く・触れる」ことで、科学のおもしろさを感じてもらおうプログラムです。

3月13日、14日、尾山廣教授がゼミの学生とともに、高校1・2年生を対象に「モリンガ種子で濁水を

“きれいな水”に浄化する一水質浄化成分の本体を見つけ出す」のプログラムを実施しました。



濁水をろ過する実験



モリンガ種子の性質を調べる実験に取り組む参加高校生と学生

世界で学ぶ

経済学部

学生の自主研究に向けて
カンボジアSDGs研修をオンラインで実施

8月15日~21日の7日間、カンボジアSDGs研修をオンラインで開催し、3人の学生が参加しました。本学のほか、同志社大学、成城大学、東洋大学などの学生、カンボジアから王立プノンペン大学の学生も参加しました。

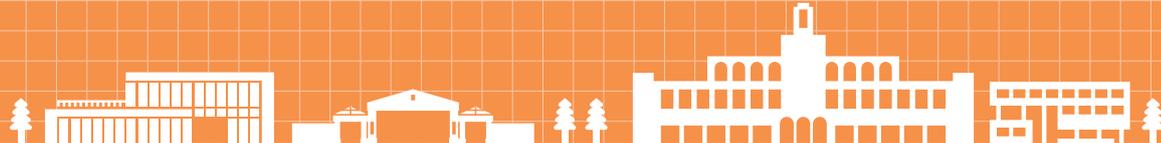
プログラムでは、カンボジアの社会起業家チャンタ・トーン氏の講演を聴

講しました。チャンタ氏は、内戦による深刻な負の遺産として残る銃弾を利用したアクセサリーの制作販売を行う社会的企業を設立し、雇用の創出と平和精神の継承を続けています。

続いて、東南アジアの社会的企業と日本の企業の連携を進めるソーシャルマッチ(株)の金愛月氏のレクチャーを受け、カンボジアで活動する



カンボジア式で挨拶(合掌)する参加学生たち



理工学部 建築学科

説得力ある構想に評価

日本建築学会近畿支部主催「卒業設計コンクール」で入選

4月20日、日本建築学会近畿支部主催の「第75回卒業設計コンクール」審査会で、社会開発工学専攻1年の天野愛希さん(2020年度卒・加嶋章博教授ゼミ)の卒業設計「名古屋流～パーチャルウォーターが堀川の風景に変わる時～」が入選作として選ばれました。かつて名古屋のものづくりを支えてきた堀川の歴史的価値を「尾張名所図会」から導き出し可視化・再編し、堀川に関わる人々の意識の変化を促すことを目指した設計です。

同コンクールは、近畿地区の大学

などから推薦、出展された卒業設計を複数の審査員が審査し入選者を選考する、伝統あるコンクールで、今回は計30点の応募があり3人が入選しました。



看護学部

先輩看護師から後輩にエール 国家試験対策講演会を開催

7月24日、本学の連携病院に今春就職した卒業生2人を招き、4年次生対象の国家試験対策講演会を開催しました。昨年度の卒業生はコロナ禍の影響を受け、これまでとは異なる状況下で試行錯誤を重ねながら国家試験対策に取り組み、全員合格を達成しています。現在も同様の状況が続く中、経験を積んだ先輩からの生の声は、学生にとって心強

く、漠然と抱えていた不安や悩みを解消する一助となりました。

来年2月に行われる国家試験の受験直前まで学内模試やセミナー、補講が続きます。心身の健康を保ちながら、第一期生から続く「卒業生全員が看護師国家試験合格」を目指します。



▲ 具体的な勉強方法やメンタル面の心構えなどを詳細に伝える講演内容



◀ 講演後、学生と和やかに対応する卒業生

グローバル教育センター (2021年4月、国際交流センターから名称変更)

能動的に学び、成長する機会に 夏期オンライン留学を実施

夏期の短期海外留学プログラムとして、8月に2つの企画プログラムをオンラインで実施しました。

一つは英語での「フィリピンプログラム」で、8人が参加。英語学習と貧困をテーマにしたプロジェクト学習に取り組みました。プロジェクト学習では、セブの教育関連NGOの代表者から講義を受け、本学学生がNGOの子ども向け教育ワークショップを企画・実施しました。

もう一つは「海外協定校協働プログラム」で、本学から14人の学生が参加し、韓国、台湾、マレーシア、インドネシア、タイに所在の海外協定大学の学生たちと各国の文化やSDGsについて学びました。SDGsに関しては、各自が関心のあるテーマごとにグループを編成し、課題解決に向けたプレゼンテーションを実施しました。

これらは単位認定とともに参加費の一部補助も行いました。

オンラインのメリットを最大限に活用 海外大学と共同学習を実施

グローバル教育センターでは、Global Communication Workshop(GCW)を実施しています。これはICTを使って海外の学生とともに学びながら、世界で通用するコミュニケーション能力を養う教育プログラムです。今年43人の学生が参加し、6月14日、台湾・国立嘉義大学をパートナーに、リアルタイムと録画の2方式で発表を行い、フィードバックを受けました。

リアルタイム方式では、模擬国際会議の形式で、本学学生が日本文化とエチケットについて発表。台湾の学生

がそれに回答し、国際会議での基本的な受け答えを体験しました。録画方式では、持続可能な開発目標(SDGs)における日本の環境問題について発表した後、台湾の学生から、台湾と比較したフィードバックがありました。

GCWでは、国際的な場や機会を通して自分の発表のクオリティを把握し、聴衆を飽きさせることなく論点を的確に主張することが求められます。今回参加した学生たちは、その目標を見事に達成しました。



▲ 台湾・国立嘉義大学の学生たちとオンラインを通じて交流

▼ 日本文化を紹介する本学学生の発表資料



多くの日本の社会起業家にインタビューを実施。途上国の社会問題やSDGsの実践事例を学びました。さらに、王立ブノンパン大学日本語学科の学生と、世界の社会問題についてディスカッションを行いました。カンボジアと日本の国境を越えてSDGsの諸課題を共有する貴重な機会となりました。

今後、学生たちは自らSDGsに取り組む主体として、社会問題調査計画・活動計画を立てて実行し、その成果を活動報告書としてまとめ、SNSで発表する予定です。



学生生活

図書館

新しい本の世界に出会う

図書館学生サポーター・職員協働企画「本おみくじ」を開催

図書館本館では、図書館学生サポーターと図書館職員との初の協働企画として4月から「本おみくじ」を開催しています。これは「おみくじ」を引き、そこに書かれた番号の本を借りるという新感覚の図書貸出企画です。企画展示コーナーに設置された本は学生サポーターが職員

と選書したもので、一冊ずつ包装されているため、開けて見るまではどんな本なのか分かりません。普段、自分では選ばないような本と巡り合うことができる「本おみくじ」。新しい視野と見聞を広げるきっかけづくりとして来年3月まで実施しています。



「本おみくじ」企画展示コーナー

寝屋川キャンパス

活動がキャンパスの緑化に貢献

【C.C.S】緑のカーテン、今年も育てました

キャンパス・クリーン・サポーター（C.C.S.:学内の環境改善に取り組む学生のボランティア団体）が、寝屋川キャンパスの夏の風物詩となった緑のカーテンづくりに挑戦しました。省エネルギー活動の一環として、毎年行っており、本活動が環境改善につながるよう、今年も大切に育てました。

コロナ禍の影響で、C.C.S.メンバーの通学が困難な中、メンバーと学生部の職員がメールなどで連絡を取り、摘芯、追肥、ツルの巻き付けなどの手入れを行いました。5月上旬に植えたゴーヤ、キュウリ、ミニトマト、アサガオの苗はすくすくと成長。夏の盛りには次々にかわいい花を咲かせて、7月には実を付けました。



たくさんの花・実を付けたアサガオ(左)とミニトマト



課外活動



陸上競技部

学生No.1

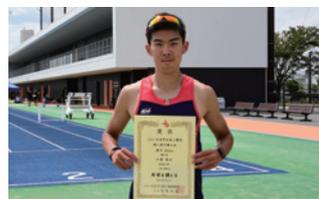
大阪学生陸上競技対校選手権大会で大会新記録 全国大会に初出場で初優勝

6月6日、神奈川県・レモンガスタジアム平塚で行われた「2021日本学生陸上競技個人選手権大会(全国大会)」男子800mの部で、体育会陸上競技部・戸澤悠介さん(法律学科3年)が、1分50秒93の記録で優勝し、見事、日本一の座を勝ち取りました。

戸澤さんは、4月7日に行われた「第69回大阪学生陸上競技対校選手権大会」の男子800mにおいて大会新記録で優勝し、その後に行われた全国大会では初出場で初優勝の快挙となりました。大会後、戸澤さんは「今回の優勝で、改めて自分の弱点を知ることができた。今年の日本インカレ、来年の全国大会に向けて練習と経験を積んでいきたい」と、すでに今後の活動に目を向けていました。



全国大会でゴールし優勝が決まった瞬間



ラグビー部

外国にルーツを持つ小学生を応援 小学生の「人権教育」授業に協力

6月7日、9日の2日間、東大阪市の小学生を対象とする「人権教育」授業に、体育会ラグビー部員の留学生3人が協力しました。これは「ラグビーのまち」東大阪市の教育委員会からの依頼を受けて参加したものです。今回の授業は、日本で活躍している本学の留学生との交流を通じ

て、外国にルーツを持つ小学生に自信を芽生えさせ、多文化共生社会の担い手となる意識を持たせることを狙いとして実施されました。

児童は事前に各国の情報を調べ、座談会で質問。具体的な内容に質疑応答が盛り上がる場面も見られるなど有意義な交流となりました。

新型コロナワクチンの職域接種(大学拠点接種)を実施

学校法人常翔学園では、本学および大阪工業大学の学生、大阪地区全校地に勤務する教職員(非専任を含む)の希望者を対象に、本学寝屋川キャンパス、枚方キャンパス、常翔学園中学校の3会場で、新型コロナワクチンの職域接種(大学拠点接種)を行っています。

日曜日に1回目接種を実施しました。2回目接種は10月2日~17日の土曜・日曜日に行う予定です。



すでに9月4日~19日の土曜・



研究・産官学連携

経営学部 経営学科

ドローンビジネスに必要な知識と技能を身に付ける 社会共創事業創出への第一歩に「ドローンサッカー」

次世代航空モビリティ「ドローン」の法整備が進み、全国の自治体・企業では産業活用への取り組みが実施されています。ドローンビジネスの裾野は年々拡大し続けています。

塚田義典准教授ゼミでは、学生がドローンの専門知識と操縦技能を楽しく身に付け、ライセンス取得や新ビジネスの発案・創出につなげられるよう、㈱オートボックスセブン、㈱イー・ディー・イーとの連携による、韓国発祥の新しいXR Sports「ドロー

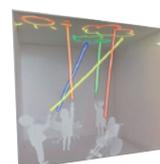
ンサッカー」を推奨しています。日本でも2019年に日本ドローンサッカー連盟が発足し、2025年にはワールドカップが予定されるなど注目が集まっています。



理工学部 住環境デザイン学科

世界中の人と造形活動を可能に 子どもたちのためのインクルーシブ・デザイン

近年、さまざまな人が使うことを前提としたデザイン手法「インクルーシブ(=包摂)デザイン」が注目されています。榊愛准教授ゼミ(共同研究者:吉川紀子滋賀県立美術館エデュケーター)では、安価に入手できる市販のワイヤレスコントローラーを活用し、障がいの有無に関係なく多様な子どもたちが一緒に遊べる「ラクガキ」の開発に取り組んでいます。障がいの程度や環境などによって、必要な道具やアプローチは異なります。そこで、一人ひとりが自分の動かせる部位にコントローラーを装着することで、安全かつダイナ



ラクガキのイメージ

障がいの有無、種類、程度に関わらず、安全にダイナミックに造形活動ができる

一人ひとりの動かせる部位にコントローラーを装着しラクガキする



ミックに天井や壁にラクガキができるようにしました。将来的には、空間をキャンパスにインターネットを通じて世界中の人と一緒に造形活動ができることを目指しています。

理工学部 機械工学科

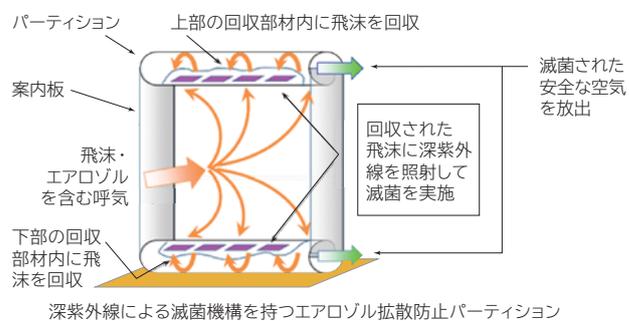
特許出願 今後の活用に期待 飛沫拡散を防止する新しい方法を発明

コロナ禍では、飛沫感染を防止する策として、人が対面するさまざまな場面でアクリル製のパーティションが使用されています。しかし、口から発せられる呼気がエアロゾル※となつてパーティションに衝突した後、壁面に沿って四方へ拡散され空気中で長時間にわたり浮遊することが明らかとなっています。

堀江昌朗教授が発明したパーティションは、エアロゾルをパーティ

ションの上下部に集める工夫により90%以上が回収でき、集めたエアロゾルに滅菌処理を施すことにより、空気中の汚染物質を最小限に抑えられると期待されています。特許出願も完了し、本発明に対し企業からも問い合わせが寄せられており、さらなる研究開発や商品化に向けて動き出しています。

※気体中に浮遊する微小な液体または固体の粒子と周囲の気体の混合体



農学部 応用生物科学科

腸内細菌叢の研究成果を社会に還元 本学初となる大学発のベンチャー企業が誕生

6月22日、井上亮教授の研究成果を基に、本学初となる大学発ベンチャー企業「株式会社フローラディスカバリー」が誕生しました。同社は、食品摂取や投薬による腸内細菌叢(そう)(腸内フローラ)への影響測定・分析を通じ、食品の高付加価値化や腸内細菌叢と疾患リスクの

関連性などについて研究開発を進めます。その成果は実社会に広く還元していきます。

本学では、今後も教育研究に基づく新たな技術やビジネス手法などを活用した起業を「摂南大学発ベンチャー」に認定し、支援していきます。

新型コロナ対策

校友会からアクリルパネル寄贈

6月19日、摂南大学校友会からアクリルパネル150枚の寄贈を受けました。贈呈式では、山口昌男会長から「母校と新たな連携の形を築きながら、コロナ収束後を見据えて支援を継続していきます」と挨拶がありました。パネルは、多目的スペースや相談室などで有効に活用しています。(本誌P2に写真掲載)

食堂の感染防止対策を徹底しています

寝屋川・枚方両キャンパスの食堂では、感染防止対策として昨年からの全座席にアクリルパネルを設置しています。6月には、枚方キャンパス食堂「レストラン結」のアクリルパネルを半透明から透明なものに交換し、横方向の飛沫防止にも対応。開放感が増し、より安全に食事を楽しめる環境になりました。



枚方キャンパス8号館食堂の新しいアクリルパネル



寝屋川キャンパス2号館食堂

本学ホームページと各学部オリジナルサイトでは、学生の活動をはじめ大学の取り組み、教育研究での成果などを日々更新中。QRコードからご覧いただけます。

Web上でこのPDFをご覧の方は、QRコードをクリックすると該当のサイトにアクセスできます。



本学の最新情報は、こちらからご覧いただけます

摂南大学公式facebookも併せてご覧ください

外国語学部

海外現地留学再開に向け準備中



6月19日、26日、7月3日の3日間、アメリカのウォルト・ディズニー・ワールドでのインターシップ「パレンシア国際カレッジプログラム」の公式スタートアップ講座がオンラインで開催され、本学学生2人が参加しました。7月20日には海外協定大学への現地留学説明会を開催するなど、海外現地留学再開に向け準備を進めています。

経営学部 経営学科

学生が受賞したSDGsビジネスアイデアを実用化へ



塚田義典准教授ゼミ、社会福祉法人太陽の家、(株)イー・ディー・イーの3者が連携し、障がい者と大学生がAI開発を協働できるプラットフォームと運用モデルの実用化に取り組みます。本アイデアの原案は、昨年2月「大学SDGs ACTION! AWARDS 2020」で同ゼミの学生が発表し、ファイナリスト賞を受賞したものです。

経済学部

オリックス野球クラブ(株)との連携授業を実施



6月22日、郭進准教授ゼミの学生が、本学の連携協定先であるオリックス野球クラブ(株)とのプログラム「オリックス・バファローズに学ぶ経済学」のフィールド調査を京セラドーム大阪で実施。事前に球団職員によるプロ野球ビジネスの講座を受け、「若年層のプロ野球ファンを獲得する方法」の企画に沿って、球場内外の施設、スポンサー看板、座席の種類などについて考察しました。

理工学部 住環境デザイン学科

人とロボットが共に暮らす未来社会の実験場オープン



7月1日、樋口祥明教授がアドバイザーを務める「コモングラウンド・リビングラボ」が中西金属工業(株) (大阪市) 敷地内にグランドオープンしました。空間・環境情報をデジタル上で再現した、人とAI・ロボットが共通言語で対話可能な共同実験場です。2025年大阪・関西万博や近い将来の関西都市部への展開に向けた重要な第一ステップを担っています。

経済支援のご案内

家計が急変し、学費の支払いに困った場合は…

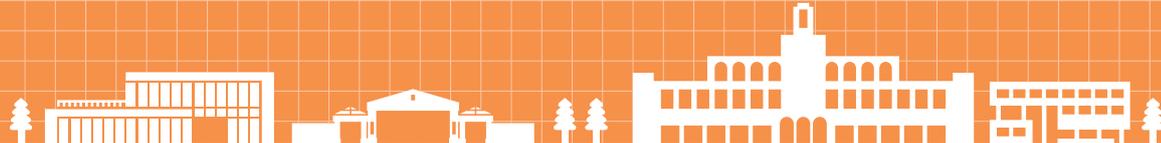
奨学金・教育ローン・学費減免の案内



不慮の事故や災害などにより家計が急変し、学業継続に支障が生じた場合の経済支援策をご案内します。

区分	名称	返済の要・不要
奨学金	① 日本学生支援機構貸与奨学金 (JASSO) の緊急/応急採用	必要
	② 貸与金額の増額 (すでにJASSO奨学生の場合)	
	③ 地方公共団体・民間奨学団体の奨学金	団体により異なる
教育ローン	① 国の教育ローン 日本政策金融公庫	必要
	② 本学との提携ローン 学費サポートプラン (オリエントコーポレーション) 悠裕プラン (ジャックス)	
学費減免	大学独自の学費減免制度 (※給付制の学内奨学金を受給している者など、適用対象外となる場合があります)	不要
一時金	JASSO災害支援金 (自然災害等により住居に被害を受けた場合)	不要
奨学金・学費減免	高等教育の修学支援制度 (日本学生支援機構給付奨学金・国の授業料等減免) 【家計急変】	不要

◎ 申請にあたっては、申請書をはじめ収入に関する書類などが必要です。
募集案内や説明会など、奨学金に関することはポータルサイトでお知らせします。随時情報発信しますので、見落としのないよう留意してください。



Web上でこのPDFをご覧の方は、QRコードをクリックすると該当のサイトにアクセスできます。

理工学部 建築学科

2年次「建築設計製図A」学内展覧会を開催



7月16日～30日、8号館4階廊下で2年次前期必修科目「建築設計製図A」の学内展覧会を開催しました。学生たちは「パブリックとプライベートが同居する空間」と「SU Visitor Center～通り抜けできるキャンパス～」のテーマを通して、「パブリック性をどのように創出するか」の課題に取り組み力作が並びました。

看護学部

世界的キャンペーン「Nursing Now」に学生が参加



6月30日、看護職への関心を深め、地位向上を図る世界的キャンペーン「Nursing Now」のイベントがナレッジシアター（グランフロント大阪北館）で開催され、本学学生2人が参加。新型コロナ医療に関して、看護師による多様な現場の現状についてのトークセッションや、医師などによる予防や治療についての講演を聴講しました。

グローバル教育センター

グローバル・シチズンシップ副専攻課程がスタート



昨年度に続き、国内外の社会課題解決に向け積極的に行動できる力を育成するグローバル・シチズンシップ副専攻課程がスタートしました。4月17日、初年次導入科目「グローバル・シチズンシップ論（入門）」の初回授業を実施。今後3年にわたって、英語の教科書を使用しながら共に学び合い、議論を展開していきます。

薬学部

英国科学誌「Impact」が吉田講師の研究を評価



吉田侑矢講師が取り組む、自己免疫疾患に薬剤フィンゴリド（FTY720）で免疫を抑制し、長期的な寛解の導入を目指す研究が、6月発行の英国科学誌「Impact」（Vol.2021 No.5）で取り上げられました。「（根治の難しい関節リウマチなどの）自己免疫疾患治療へのユニークなアプローチ」と紹介されており、これからの研究展開に期待が高まります。

農学部 食品栄養学科

2年次の実習で給食を毎回調理・喫食



2年次前期必修科目「給食経営管理実習」では、毎回100食分の給食を実際に調理・喫食します（現在、コロナ禍により50食に縮小して実施）。学生は栄養士係、調理師衛生管理係、調理師係などを順に経験。栄養士係の指揮の下、四季折々の献立を給食経営実習室で調理し、隣接の「実習食堂」で喫食します。喫食者にはアンケートを行い、次の実習に生かしています。

入試情報

本学の入試に関する情報はこちらからご覧ください



入試情報特設サイトにて、学部および大学院の入試についての各種情報、入試結果、入試に関するイベントなどのお知らせを掲載しています。大学案内や入学試験要項などの資料請求の受付も行っています。

Information

外国語学部

参加費無料
どなたでも参加可能
国際文化セミナーを
オンラインで開催しています

外国語学部は、2022年4月に「国際学部」へ変わります。学部改組にあたり、本学部では国際文化に関わる研究および教育の成果を社会へ還元することを目的に、7月から「国際文化セミナー」をオンラインで開催しています。

第1回では「英米文化におけるポピュラー音楽とドラマの批判的視座」、第2回では「イメージ×テキスト—日本近代文学、ルネサンス美術、ジェンダー」をテーマに実施。国際文化に関心のある方ならどなたでも参加可能です。

今後の開催内容

開催方法はいずれもライブ配信（Zoom）、参加費は無料。事前申し込みが必要です。

第3回

11月13日（土） 11:00～12:00

加来奈奈准教授、森類臣准教授

「トランスナショナルな世界をよみとく」

【申し込み締切：11月11日】



第4回

2022年2月（日時未定）

中西正樹教授、手代木功基講師

（日時・テーマについては確定次第、学部サイトに掲載します）

薬学部／研究支援・社会連携センター

植物の知られざる薬効を紹介
Web薬草見学会を実施中

外出自粛が続く中、自宅で楽しんでもらえるようweb薬草見学会をYouTubeで公開しています。本学の薬用植物園をはじめ枚方キャンパスで栽培している薬用植物の薬効やトリビアを交えながら紹介。ぜひご覧ください。



農学部／先端アグリ研究所

最新の研究成果を身近なテーマで解説
摂大農学セミナーを開催中

「摂大農学セミナー」を毎月ライブ配信で開催しています。詳細は随時学部サイトに掲載。どなたでも参加可能です。



学生のニーズに幅広く応え
就職活動を徹底サポート

就活 進路 内定状況



“就活”と内定の状況

～Web活用が定着、二極化も～

今年度の就職活動、いわゆる「就活」は、コロナ禍にあってもWebを活用した説明会やセミナー、オンラインでの個別面談などの環境が企業側も学生側も概ね整い、前年度より順調に行われています。これにより、5月頃から内定を獲得する学生が増えている一方、企業の厳選採用が顕著であることや、対面での企業説明会や会社見学の機会不足などによる、企業研究・企業理解の不十分さなどを要因に、内定獲得に苦戦するケースもあり、二極化が進んでいます。

9月1日現在、本学の就職内定率は71.0%（文系64.1%、理系80.6%）と前年度から3.0ポイント増となりました。



オンラインでの個別面談

コロナ禍での 就職支援の取り組み

～専用就活システム「セツナビ」～

就職部と枚方事務室就職係では、コロナ禍でもWebツールを利用して、学生の皆さんの進路に関するさまざまな情報を提供し支援しています。

卒業生の進路や内定情報、実際に受けた筆記試験や面接選考などの就職活動体験記を、摂大生専用就活システム「セツナビ」に掲載。スマートフォンやパソコンから閲覧できます。大学に届いた求人も、この「セツナビ」で24時間いつでも閲覧可能で、情報は随時更新され、最新の求人情報をもとに応募ができます。就活の必須アイテムとして活用してください。

個別の支援は次のとおり実施しています。

進路相談

（就活相談専用メールまたはWebツールでも対応）

「何から始めたらいいかわからない」「自分に何が向いているのかわからない」など、進路に関するどんなことでも相談に応じます。

応募書類の添削

（就活相談専用メールでも対応）

- 志望動機、自己PR、学生時代に力を入れたことなど
- 企業独自のエントリーシートにも対応

面接練習

（Webツールを利用してオンラインでも実施）

- 過去の実績をもとに、応募先に合わせた内容で実施
- キャリアアドバイザーとの1:1の個別練習

3年次生向けに「Microsoft Teams」で情報発信

今年度から、3年次生向けにWebツール「Microsoft Teams」を用いて、就活情報を随時発信しています。

- 大学が主催の行事
 - 就活事前準備ガイダンス、エントリーシート作成セミナー、就活マナー講座 など
- 公務員希望者向け情報
- 外部セミナーなどの案内
- オススメの就活サイトの紹介 など

※閲覧には、2023卒生専用への登録が必須となります。これまで以上に情報収集をしっかり行っていくことが求められますので、ご家庭でもこの「Microsoft Teams」利用についてお声がけください。

未内定学生への支援

～個別面談でサポート強化～

就職部と枚方事務室就職係では、さまざまな事情から現在も進路未内定になっている学生に対しても就活支援を行っています。個別面談を中心にオンライン、電話、メールを活用した相談に応じていますので、積極的に活用してください。なお、就職を希望する場合は、早めの相談が望ましいことから、計画的に準備するよう指導しています。

進路決定について

今年度より、卒業後の進路を決定した際には、Forms（Webアンケートフォーム）での報告をお願いしています。内定を獲得された場合も同様に、次のQRコードから報告するようお願いいたします。

<https://forms.office.com/r/dzLLNyWVs82>



後援会

後援会 会長 挨拶

後援会会員および関係者の皆さまには、日頃から後援会活動にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。このたび2021年度の後援会会長を務めることとなりました。本会活動の目的である「大学と家庭との連携を密にし、より良い教育環境の構築」を目指して尽力してまいりますので、何卒よろしくお願ひいたします。

後援会では2021年度において、「大学と家庭との連絡提携」「教育懇談会の実施」「教育に対する援助」「学生の課外活動に対する援助」「就職

活動に対する援助」の5つの主たる事業はもとより、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として「リスクマネジメントに係る援助」にも取り組んでまいります。現在の事態を悲観することなく「全ての学生のため」の後援会活動を念頭に、役員が団結し、後援会運営に努力していきたくと考えております。

保護者の皆さまには、今後とも後援会活動の趣旨をご理解いただき、各種行事への積極的なご参加をお願い申し上げます。



後援会 会長
和田 健太郎

2021年度 事業計画

1. **大学と家庭との連絡提携**
キャンパスガイド・大学広報誌「さやけき」の送付 ほか
2. **教育懇談会の実施**
寝屋川・枚方両キャンパスと学外4会場にて秋期教育懇談会を実施
3. **教育に対する援助**
研究発表・ゼミ旅行・資格試験への援助 ほか
4. **学生の課外活動に対する援助**
課外活動・大学祭への援助 ほか
5. **就職活動に対する援助**
保護者向け就職支援冊子作成・送付に係る援助 ほか
6. **リスクマネジメントに係る援助**
新型コロナウイルス感染拡大防止策に係る援助 ほか

後援会総会を 資料掲載形式で実施しました

例年5月下旬に開催している「後援会総会」について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度も大学における会合形式での実施は中止となりました。総会で審議予定であった議題については、資料を本学ホームページに掲載し、ご意見を募る形での開催としました。

議事は2020年度決算報告、2021年度事業計画および予算案などについて、異議なく原案どおり承認されました。2021年度の三役が下記の通り選出されたほか、新たに20人の役員候補者が承認され、計52人の新運営体制が整いました。

【2021年度 三役】
(※敬称略 50音順)

会長 和田 健太郎 (看護学部)

副会長 井上 圭子 (外国語学部)

入江 朋美 (理工学部)

漁師 知美 (経済学部)

田中 まゆみ (薬学部)

監事 栗田 聡子 (法学部)

多田 静香 (看護学部)

秋期教育懇談会のご案内

10月・11月に本学(寝屋川・枚方)会場と学外4会場で開催します。今抱えている問題や質問がございましたら、ぜひご参加ください。詳細については、8月に送付の案内状または本学ホームページをご確認ください。

本学ホームページ 後援会サイト

<https://www.setsunan.ac.jp/family/kouenkai/>



オンラインを活用したビデオ通話での個別懇談 (学外会場)

【2021年度 開催スケジュール】

本学会場				学外会場			
10/9 (土)	11/6 (土)	10/9 (土)	11/6 (土)	11/13 (土)	11/20 (土)		
外国語・理工学部	法・経済・経営学部	看護学部	薬学・農学部	全学部	全学部		
寝屋川キャンパス		枚方キャンパス		岡山	福岡	福井	奈良

【教育懇談会 実施内容について】

本学会場

- 個別懇談
ご子女の成績および生活状況などについて、主指導担当教員と個別に懇談を行います。
- 就職相談(3・4年次生、薬学部は5・6年次生)
就職部・枚方事務室就職係の職員が就職・進路について個別に相談を受け付けます。

学外会場

- 個別懇談
ご子女の成績および生活状況などについて、主指導担当教員と個別に懇談を行います。
- ※学外会場では、会場と本学をオンラインでつなぎ、ビデオ通話で本学教員と懇談いただけます。

道なき未知へ、挑め。



現代社会学部

【仮称・設置構想中】

2023年4月開設

学部設置に合わせて、本学が推進するアクティブ・ラーニングを中心とする新しい学びのスタイルに相応した教育環境を備える新校舎の建設も計画しています。

- 設置位置 寝屋川キャンパス(大阪府寝屋川市池田町17番8号)
 - 入学定員 250人(収容定員1000人)程度
 - 分野構成 ソーシャルイノベーションコース/ライフデザインコース/メディアコミュニケーションコース
- ※設置計画は予定であり、変更になる場合があります。

2022年4月、2学部が変わります



国際学部 国際学科

外国語学部から「国際学部」に改組します。

2022.4 国際学部 誕生

グローバル化、ボーダレス化が進む世界におけるさまざまな課題について解決策を見出し、果敢に行動できる人材育成を目指します。そのために必要な、語学力だけでなく異文化理解も深め「グローバルリテラシー(国際対話能力)」を身に付けた国際人を育成します。



経営学部 経営学科

2学科を1学科に統合し、新しい4つのコースに改編します。

- マネジメントコース
- ICTビジネスコース
- マーケティングコース
- 会計・ファイナンスコース

専門的な4コースの学びで、データを分析し読み解く力を養成するとともに、経営に関する理論・実践の専門知識を身に付けた各分野のプロフェッショナルの人材育成を目指します。

告知 大学祭

● 摂大祭 (寝屋川キャンパス)

10月30日(土)/31日(日)

● 摂友祭 (枚方キャンパス)

10月31日(日)



※新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえでオンラインなどを用いて開催予定です。
※状況により中止する場合があります。
※詳細については、本学ホームページにて最新情報をご確認ください。

本学園並びに本学の取り組み
にご支援をお願いします。

学園創立100周年記念募金

2022年、常翔学園は創立100周年を迎えます。
これを記念し、摂南大学の教育および研究の振興・充実を図るため、
下記の記念事業を計画しています。
皆さまからのご支援を賜りますようお願いいたします。

摂南大学の推進事業の種類

- キャンパス整備事業
- 奨学金充実事業
- 学校運営支援事業
- 課外活動支援事業
- プロジェクト支援事業
- 1. 学生支援プロジェクト
- 2. 地域連携支援プロジェクト
- 3. Smartキャンパス整備プロジェクト

【募金に関する情報】

<https://www.josho.ac.jp/100th/donations/>



◆「さやけき」とは

「さやけき(清けき)」は、明るい、清々しい、清く澄んでいるなどの意味を表します。大学歌に「学風さやけき摂南の」の詞があるとおり、本学の明るく、若さあふれる清々しいイメージを象徴する言葉です。



◆ 表紙の人

「学修キックオフ・セミナー」で、ファシリテーターとして新入生の学修をサポートした中川知香さん(経営情報学科3年・写真右)、大野優成さん(都市環境工学科2年・写真中央)と本授業を担当しファシリテーターの指導にあたる上野山裕士講師(教育イノベーションセンター)
(本誌P4・5でも紹介しています)

～摂南大学は2025年に創立50周年を迎えます～